

新潟県佐渡市

二地域居住の推進実証事業

成果報告

目次

- 01 佐渡市の課題と事業目的
- 02 取組の概要
- 03 役割分担
- 04 スケジュールと進捗
- 05 学びと課題
- 06 今後の展開

佐渡市の課題と事業目的

止まらない人口減少、 移住促進政策の限界

佐渡市では人口減少、特に自然減が加速。令和5年度は1200名以上の人口減少。移住促進に取り組み、社会減の改善は見られたものの、アフターコロナで東京一極集中が再燃。社会減の再増加と移住後の定着率の減少が見られる。そこで移住促進だけではなく、全国で人口をシェアする二拠点居住の促進が急務となっている。



取組の概要：「学びと自然共生の佐渡島」

魅力的な二拠点居住の受入体制構築には「住まい」、「なりわい」、「コミュニティ」が不可欠。「人とトキが共生する島」という唯一性を活かし、教育・農業・観光・地方活性化を統合した持続可能なコミュニティモデルを構築するため、佐渡島を「学びと自然共生の島」と再定義した。本取組では上記環境創出のためのモデル事業を実証する。



佐渡島での豊かな暮らしを実現する「住まい」

旧旅館を改修した宿泊所にてプログラムを実施することで持続可能な生活スタイルを体験。



快適で特徴的な「なりわい」

宿泊施設併設のコワーキングスペースの提供により新たな働き方を提案。



多様な人々が交じり合う「コミュニティ」

地域住民一体となって持続可能な生活や環境保全に関するワークショップを実施。

役割分担

株式会社perchが地域連携ハブとして運営を担う。企画運営において佐渡市と連携し、特に移住や二拠点居住に関するグランドデザインの策定を行い持続的な取組の推進を目指す。

住まい

ist - Sado

自然と暮らす二拠点生活
を提案。

ADDress

多拠点居住促進で連携。

なりわい

t0ki brewery

酒蔵、地元コミュニティ
との連携。

米農家・放牧場

体験学習提供で連携。

コミュニティ

新潟大学

佐渡島自然共生ラボ

循環型学習プログラムの
創出で連携。

UMAMI Labo

食の体験学習で連携。



実施スケジュール

01

企画・準備

9月1日~

02

二拠点居住ツアー

11月16日~17日

03

二拠点居住会議

11月22日~23日

04

中間報告会

12月13日

05

起業家合宿

1月18日~19日

06

成果報告会

2月25日

進捗報告 - 二拠点居住ツアー 11/16-17



本取組の目的

下記目的達成のために参加費6万円と設定、質の高いツアー設計を行いました。

- リピートしたい行き先がどんな場所かを把握する。
- 初来島者が感じる良さや不便さを把握する。



参加者の属性

参加者5名の男女比と居住地は下記となっています。



行程表 - 1日目到着~夕食前



文化

寺社仏閣見学

まずは佐渡島の雰囲気を感じてもらう。混ざり合う文化と歴史。

生業

昼食@蕎麦茂左衛門

Uターンした職人が作る、島の魚や自生する野草を使った料理。

文化

佐渡金銀山見学

佐渡市協力のもと坑道を歩きながら金銀山の説明を聞く。

自然



瞑想とサウナ

島内の住職協力のもと瞑想後にサウナへ。心身のリラックス体験。

行程表 - 1日目夕食~2日目



交流

宿での夕食交流会

地元の人も呼んでの夕食会。| ターンシェフによる地元食材料理。

文化

鬼太鼓

伝統文化に触れる。担い手が交流会に参加し島の生の声を聞く。

水産

佐渡の海について学ぶ

島内水産業者協力のもと、佐渡の海の幸を美味しく学ぶ。

自然

尖閣湾見学

海のこと学んだ後で実際に海へ行き、佐渡の多様な自然を認識。

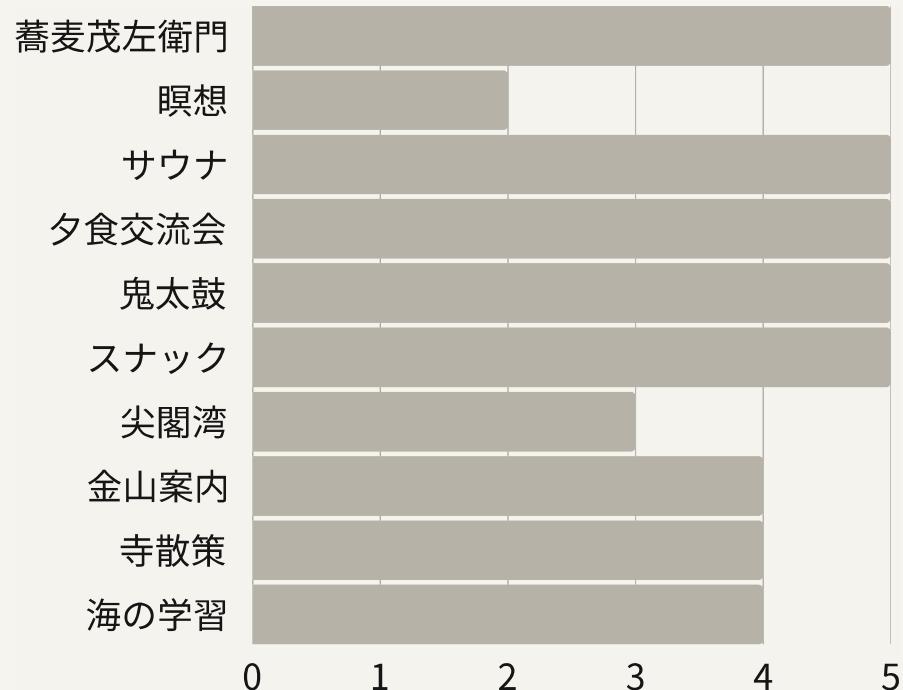
二拠点居住ツアー - アンケート結果



全員がまた来たいと回答

参加者アンケートでは全員がまた佐渡島を訪れたいと回答。実際に今後佐渡へ訪れるタイミングがいつになるのか、今後もコンタクトをとっていく予定。

二拠点居住ツアー - アンケート結果



人と話すという要素が重要

参加者が「また佐渡へ来たい」と感じるのは、特に地元の人と話す機会があるコンテンツでした。人と繋がること、コミュニティの存在は何度も訪れる場所に必要な要素であると考えられます。



本取組の目的

下記目的達成のためにモニターツアーとして各地域からプレイヤーを集客した。

- ✓ 理想の二拠点居住がどんなものを調査する。
- ✓ 島での「なりわい」に関する意見を集める。



参加者の属性

参加者8名の男女比と居住地は下記。職業としては6名が経営者、2名が会社員。



行程表 - 1日目



農業

農業・トキとの共生視察

水田の目の前で、専門家からトキとの共生、農業について学ぶ。

交流

夕食交流会

地元の事業者や佐渡市も参加し、直接的に地域の声を聞く。



夕食会参加者

- ・佐渡市より3名
- ・飲食事業者5名
- ・太鼓芸能集団「鼓童」3名
- ・鬼太鼓の事業者1名
- ・島内アーティスト1名
- ・宿泊関係事業者2名
- +島外参加者7名の合計22名

行程表 - 2日目



居住

二拠点居住会議

佐渡市や市内事業者も参加し二拠点居住に関するディスカッション。

居住

ist - Sado視察

サウナ施設等の視察と体験。自然とともに暮らすがコンセプト。

生業

島内事業者視察

クラフトビールを造るブルワリーなど島内事業者の視察。

生業

コワーキング施設体験

宿併設のコワーキングスペースを実際に利用し体験。



二拠点居住会議 - アンケート結果



全員がまた来たいと回答

参加者アンケートでは全員がまた佐渡島を訪れたいと回答。実際に今後佐渡へ訪れるタイミングがいつになるのか、今後もコンタクトをとっていく予定。

二拠点居住会議 - アンケート結果

仕事関係なく拠点を選ぶ。楽しいコミュニティがある場所、素敵な公園がある場所、景色が良い場所、そういう要素がある場所を二拠点目にしている。拠点になってから、仕事の話になることはある。

北海道・静岡の二拠点生活中・30代女性



三拠点以上の生活は疲れるので二拠点居住はちょうどいい。3週間ずつくらいのペースで行き来できたら自炊もできしちょうどいい。一つの拠点だと流動性がなくなるが、拠点がもう一つあると色々と幅が広がる。

多拠点生活中・40代男性



理想の二拠点生活は？ 仕事よりも生活環境

理想の二拠点居住について聞くと、仕事よりも生活環境について触れる人が多かった。移住となると仕事の心配が真っ先に上がるが二拠点居住だと「仕事は元の拠点で」という考え方ができる。

二拠点居住会議 - アンケート結果

何度も行く拠点には魅力的な人がいて、コミュニティができている。佐渡に来たときにどこ行けば面白い人と出会えるのか？まだよくわからぬ。今回はいろんな面白い人と話せたけど、普段はどうしたらいい？

北海道在住・30代男性



佐渡に限らず地方は車がないと大変。バス移動だけだと自由が効かないし、でも車を買うまででもないし。そういうときに複数人で車をシェアできたりするととても助かる。佐渡汽船が安くなると嬉しい。

愛媛在住・30代女性



佐渡で二拠点生活。 ネックになるのは？

大きく2つの課題が見えてきた。コミュニティと交通。人が集まる場所の設計と移動問題の解消が必要。二拠点居住者も佐渡汽船の島民割が使えたら…という声も。

2025年1月18日~19日 起業家合宿 in 佐渡島

トキと人間が共生する唯一の島、佐渡島。日本の縮図とも言われ、多様な自然環境を持つ佐渡島で、持続可能なビジネスに挑戦しませんか？新しいライフスタイルへの一歩を応援します。

1泊2日の中の多様なコンテンツ

1月18日(土)は佐渡ビジネスコンテスト2025の本選が行われます。そんな熱い佐渡島で、18日の夜から開催される起業家合宿。ビジコン出場者も、本選出場を逃した人も、応募が間に合わなかった人も、佐渡でチャレンジしたい方は誰でも応募できます。
※応募多数の場合は選考により参加者を決定します。

夕食会

佐渡島のプレイヤー、自治体職員、ビジコン関係者とのネットワーキング。



米や魚など地元食材を使った食事。

地域で活躍する人々が参加し、地域課題や自分のアイデアの可能性について直接意見を交換することができます。

アイデアピッチ

参加者のアイデア発表と新潟県内の起業家によるFB。

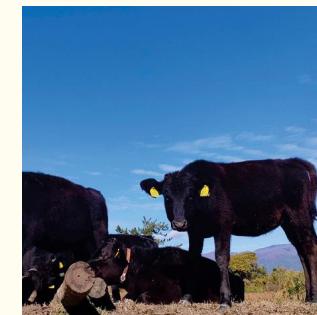


すでに活躍する起業家が参加。

参加者のアイデアピッチに対して、起業家や地域のプレイヤー、自治体関係者がフィードバックを行います。

現場視察

佐渡の第一次産業やエネルギーについて専門家から学ぶ。



大学研究者との交流も。

循環型のエネルギーや農業など、佐渡で注目される持続可能な事業の可能性について学びます。

参加料：10,000円(宿泊費込) 詳細は右下QRコードから！



起業家合宿開催の目的

佐渡島の関係人口増加へ、 ネットワーク構築

佐渡市では人口減少、特に自然減が加速。その中で取り組みを進める二拠点居住促進において、起業家を関係人口として取り込むことを重要な施策と認識している。そこで、合宿開催により佐渡島への事業展開の意思をより強固なものとし、彼らとの関係構築を図る。



参加者一覧

SUN株式会社
仲宗根俊平

東京都

インバウンド向け観光情報サイト事業

株式会社ジーバー
永野健太

宮城県

地域のシニアが活躍する飲食店事業

佐渡静時
根津美保

台湾

国内外旅行者向けの佐渡市限定旅行業

中村隼

佐渡市

業務用高性能マイクの製造・販売

勇樹会より2名が参加予定だったものの、前日に体調不良のためキャンセル。

講師の紹介

鎌倉投信株式会社

代表取締役社長 鎌田恭幸氏

今年度の佐渡ビジネスコンテストの審査員長を努める鎌田氏に講師を依頼。

プロフィール

1988年東京都立大学法学部卒業後、日系・外資系信託銀行を通じて20年以上にわたり資産運用業務に携わり、外資系信託銀行の副社長まで務める。2008年11月に鎌倉投信を創業し、以来現職。

SIIG株式会社

代表取締役CEO 谷川獎 氏

過去ビジコングランプリの起業家代表として谷川氏に講師を依頼。

プロフィール

1991年新潟県佐渡島生まれ。Webデザイナー・ディレクターとして国内外で経験後、SIIG株式会社を創業。株式会社サイバーエージェントで新規サービスのUI/UXデザインも経験。

成果報告 -起業家合宿-



本取組の目的

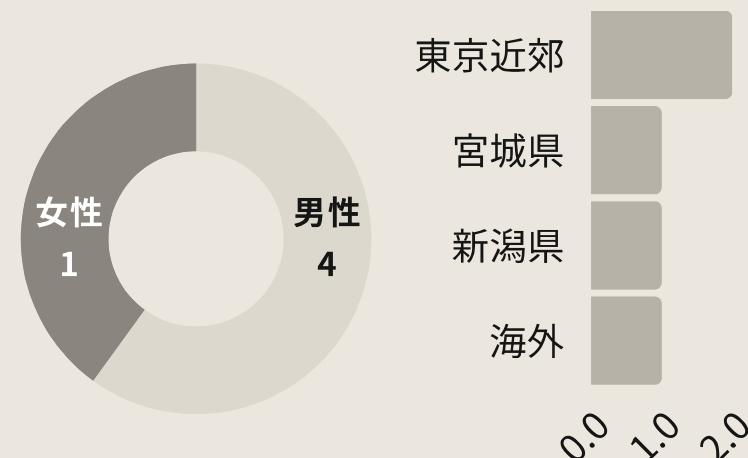
二拠点居住者として期待される起業家たちの意見収集と魅力の伝達。

- 起業家たちの課題を知り、解決策を提示する
- 島の人々とのつながりを作ることで実現性を高める



参加者の属性

参加者5名の男女比と居住地は下記となっています。



成果報告 -起業家合宿-



アンケート結果



ビジコンのみの参加だけではなく、追加で今回の合宿に参加する価値があると感じますか？



本プログラムは二拠点居住等の取り組みについて、理解を深めるきっかけになりましたか？



今後、定期的に佐渡を訪れる予定がありますか？



全員が
「はい」
と回答

二拠点居住会議 - アンケート結果

海外生活を長く続けてきましたが、これを機に佐渡島と台湾の二拠点居住を検討しています。合宿中の雰囲気がよく、緊張せず参加できたことも、今後の佐渡移住の大きな励みになりました。



東京と佐渡島の二拠点生活を検討しています。合宿に参加して地元の事業者や市の方と交流することで、自分の事業をどのように展開していくべきか、ビジコンでは得ることのできない濃いフィードバックを受けることができました。



質問：今後二拠点居住の可能性がありますか？

参加者全員が佐渡島での二拠点居住を希望。実際、全員が次の訪問日を確定していました。今後どのように展開していくのか、引き続き動向を見ていきます。

学びと課題



主な成果や成功事例

二拠点居住に対する生の声を拾い、重視すべき要素が見えてきました。

- ✓ 人と繋がることの重要性
- ✓ 移動への安心感が重要
- ✓ 起業家の可能性



遭遇した課題や挑戦点

本事業終了後も持続的に取組むための課題は下記です。

- ✓ 集客力の向上
- ✓ 人員の拡充
- ✓ 他地域との連携

今後の展開

**2025年1月
起業家合宿含む
事業の完了**

本取組の対象事業を完了させる。合計3つのテストツアーより得たデータを整理。

**2025年2月
事業に関する
レポート作成**

成果報告会に向けて、本取組についてまとめたレポートを作成。

**2025年3月以降
ガイドラインの
策定**

佐渡市とともに二拠点居住促進のガイドラインを策定し、持続的な取組につなげる。

**2025年4月以降
運用を担う団体
の立ち上げ**

佐渡市と連携しガイドラインを運用するための団体を来年度以降に立ち上げ予定。